



主な内容

- 2 …… 市美術展覧会審査結果、名張保護司会便り
- 3 …… かがやきフェスタ、国津の杜の行事、ゆめづくり協働塾
- 4 …… 11月の相談、健康エブリデー

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



「地域の皆さんに声を掛けてもらうのがうれしい」と話す 薦原まちの保健室、山下さん(左)と大畑さん(右)の二人

「親身に話を聞く 地域のよき相談役」として

まちの保健室は、平成17年度から市内の15地域に順次開設した地域福祉の拠点です。学校に保健室があるように、地域の中にも、介護や子育てなどの不安や悩みを相談できる身近な窓口として、全国で初めて設置されました。

「最初は、地域の皆さんとどう進めていくか手探り状態でした」と話すのは、薦原まちの保健室の山下さんと大畑さんの二人。まちの保健室の職員は、医療や介護な



薦原まちの保健室 山下 希三代(看護師)

どの専門の資格を持つ市の業務補助員という立場。市の地域包括支援センター職員と連携しながら、行う業務は多岐にわたります。そして、高齢者が多い、子育て世代が多い、地形や特性など市内15地域で違いがあり、まちの保健室はそれぞれのニーズに合った対応を求められる。

まちの保健室は、ほとんどが公民館の中に設置しています。地域の皆さんからの相談や高齢者学級や催しに参加した人に、運動や栄養などの健康教室・体操や血圧測定を実施しています。「皆さんに顔を覚えてもらって、信頼してもらえるようになった」と山下さんと大畑さん。

「高齢者との関わりが多いのですが、やはり、これからは積極的に子育て支援にも力を入れています。子どもは地域の宝ですから」と二人は笑顔で話します。



薦原まちの保健室 大畑 尚子(社会福祉士)

# 地域に寄り添い活動する まちの保健室

「まちの保健室」ってご存じですか。学校に保健室があるように、地域に住む高齢者や子育て中の人などが、介護や子育ての不安や悩みに応じる身近な窓口「まちの保健室」。今号では、薦原まちの保健室職員二人に、まちの保健室の役割を聞きました。

☎地域包括支援センター ☎63-78333



○一人暮らしの高齢者世帯や高齢者夫婦のみ世帯などを訪問。「変わったことはないですか」「体調はどう」と声を掛け、来月公民館で集団がん検診があるから、受けてみてと検診を促す。



○薦原小学校で、認知症について知り、どう接するのかを学ぶ「認知症サポーター養成講座」を先生の協力を得て初めて開催



○公民館で開催する高齢者学級で、健康体操を指導。また健康の話や血圧も測定



○さつき台の子育てサロンに参加。乳幼児の発育測定などを健康支援室の職員と実施

- 集団がん検診や特定健診の受付などを手伝いながら、受診者に声を掛ける。
- 西田原区の敬老会に参加。区長らと協力して振り込め詐欺防止の寸劇を披露し啓発
- 「近くに住む認知症の症状がある高齢者が徘徊している」という電話相談がある。すぐに駆けつけ、様子を見る。
- 他のまちの保健室の職員との情報交換・研修会に出席。事例の検討や高齢者学級、子育てサロンなどの取り組みを参考にする。

Q まちの保健室ってどんなことをやっているの？  
A 例えば、こんなことをしています  
〜薦原まちの保健室より〜